

お知らせ

平成15年9月4日

## ” いざという時のために！ ”

水害危機管理演習を行います  
【平成15年9月11日(木)10時~16時00分】

国土交通省中国地方整備局は、岡山河川事務所において机上での水害危機管理演習を行います。

演習は、国土交通省職員など約90人が参加し、関係機関・住民からの問い合わせ、被害状況報告が集中する状況を想定し職員の情報処理や判断、迅速な対応能力の向上を図ります。

「岡山県に大雨が降り、吉井川、旭川、高梁川において河川水位が上昇中」との設定のもと、三つの河川を管理する岡山河川事務所では演習シナリオを知らされていない職員が、次々と押し寄せる河川の災害情報などの中から必要な情報を抽出し、「今何をすべきか」を判断します。

この水害危機管理演習は、平成12年より中国地方整備局管内の事務所で行っており、今回の演習で4回目、岡山河川事務所では初めてとなります。

演習目的：大規模水害時における職員の危機管理能力の向上

日時：平成15年9月11日(木)10時~16時00分

場所：岡山河川事務所（3F災害対策室、2F会議室）

参加者：約90人

演習方法：ロールプレイング方式（災害時同様の環境を設定。）

その他：当日の演習状況は、報道機関に公開します。

なお、当日は報道対応者を配置しますので、ご質問は担当者へお願いします。

当日の気象状況によっては、演習日を変更する場合があります。

### 国土交通省 中国地方整備局

#### 問い合わせ先

河川部河川管理課長 秋山 良壮（内線 3751）

河川部河川管理課課長補佐 上橋 昇（内線 3752）

TEL（082）221-9231

#### [ 演習日の報道対応者 ]

河川部河川管理課課長補佐 上橋 昇

岡山河川事務所(技)副所長 宮崎 貢

## 参考

### 1. ロールプレイング方式による演習とは

実際の災害に近い状況を設定し、次々と伝達される水文状況・被害状況等の情報、また、関係機関・住民等からの問い合わせに対し、演習部（岡山河川事事務所）の情報整理と判断、意志決定の過程等、災害時における対処能力を錬磨する演習です。

演習は、各種の状況を付与する

コントローラ（指揮部）：中国地方整備局、各出張所、防災エキスパート  
と、演習を受ける側の

プレイヤー（演習部）：岡山河川事事務所  
に大別されます。

指揮部は、演習シナリオを作成し、住民、マスコミ、関係機関等、様々な役割に扮し、演習部に対し状況（雨量・水位、河川堤防の漏水、越水、破堤、浸水被害等の河川災害情報、道路・鉄道等のライフライン被害情報等）を与えます。演習部は、演習シナリオは知らされていません。指揮部より次々に押し寄せる情報（状況付与）の中から必要な情報を抽出し、「今何をすべきか？」を判断し実行します。